

根来山げんきの森倶楽部

令和6年2月作業日誌

活動日：令和6年2月18日(日) 9:30~15:30 天気：晴れ 倶楽部員：39人

草花がほころび、ウグイスのさえずりも聞こえ始め、いよいよ春本番。華やかな季節ですが、花粉症の方はやや辛いですね……。2月の作業日は、汗ばむほどの暖かさのもと、多少のハプニングはあったものの順調に終了することができました。

里山整備

2月とは思えない暖かい気温下での活動となりました。

うるし谷入り口付近の私有地に倒れ込むように伸びている木を伐採するミッションです。木の下には倉庫や車庫があり、そのまま切り倒してしまうと倉庫や車庫に激突落下間違いなしなので、そこは経験豊かな親方指導のもと修理済みのエンジン付き「ひっぱりだこ」や手動式ロープウィンチ等を使用しながらロープを掛ける下準備が大切となります。

その間、手の空いている者は周辺の竹や邪魔になりそうな細い木を取り除く作業をします。

里山整備班が作業に取り掛かると、うるし谷のメンバーも加わり大勢での共同作業が始まりました。

1 本目の大きなナミノキにチェーンソーの歯が入る音がして暫くした後、轟音と共に倒れ込む音と同時に下にある倉庫に当たった音も聞こえたのでドキドキしましたが、倉庫は無事でした。倒木作業は毎回ドキドキヒヤヒヤさせられますが、それが心地よい気もするのは私だけでしょうか。

午後は2本目のアラカシの伐採作業、狙い通りの場所に倒れると快感です。

倒された木は皆で細かくし、アラカシは炭材用に120センチに他は適当に切って軽トラに積み込む作業となりました。あとは炭小屋まで運び込むのですが3往復したでしょうか。

1回目運搬にタイヤがパンクするハプニングもありましたが、1日の作業は怪我人もなく無事に終了することができました。みなさんお疲れさまでした。お昼は、げんきの森産自然薯入りの美味しいお味噌汁に元気をいただきました。ごちそうさまでした。(岩田 禎子)



一汁一菜でええんです



うるし谷整備

この日は10名で作業開始。

まずは、昨年の大雨で、段々の一部の土砂が崩れていたのを、補修しました。杭を打ち、内側に丸太を積んでいきます。この丸太運びが大変！人力なので、大きな丸太は3人がかりで起こして倒すを繰り返し、少しずつ移動させる地道な作業です。丸太を積んだ後は、隙間を石で埋めて、補修は完了。その後は、里山整備チームがうるし谷入口付近の張り出したナナミノキ（ナナミという木かと思っていましたが、ナナミノキまでが名称でした・・・）を伐採する作業のお手伝いをしました。ナナミの木は折れやすいため、ナタや鋸をつかわなくてもバキッと折れるのが気持ちよかったです。

2月なのに暖かかったため、汗ばみながらの作業となりました。（神浪 佐知子）



ロゴソール作業



ロゴソール（製材）作業は2ヶ月前に予定していましたが、12月は雪で遊歩道整備に変更（土場は非常に寒い）、1月は雨で解散と、やっと着手することが出来ました。土場にためていたヒノキの製材です。板にしたヒノキは、アジサイ広場とバリアーフリートレイルから下に降りる階段の補修に使う予定です。

当日は暖かく作業日和。早速9名のメンバーで取り掛かりました。ヒノキ丸太の真ん中にロープをまわし、両端にはそれぞれ鷲や腕で取り付き、更にはテコで後戻りしないよう押さえる係6人掛かりでステージの上に載せます。その間バー長70cmのチェーンソーのエンジンをスタートさせようとするのですが、随分久しぶりの御用で拗ねているのか、ブルンとはいきません。気がつくとかソリンが半分になっていました。点火プラグをバーナーで焼いてやっと動き出しました。

ここで、今後のために一言。丸太をステージに乗せ、止め金具を閉めるだけではエンジンの振動で金具のネジが緩んで外れ、丸太はゆらゆら動いて捻れた板になってしまいます。色々試行錯誤してやっと辿り着いた対策は、丸太のステージに触れる部分をチェーンソーを使って平らにしてやることでした。

ここからは快調に製材が出来、午前中に2本、午後2本と合計16枚の板がとれました。

製材中にチェーンソーの切れが悪いので刃を交換したのですが、錆びていたのを付けて切り始め、50cmも進まないうちに刃が飛んでしまいました。周囲に危害はありませんでしたが、空回ししている時に切断していれば危険だったと思います。

2時過ぎに終了し、撤収しました。ソーチェーンを外し、予備の分とで2本、念入りに目立てしました。（赤阪 進）

炭材詰め込み作業と薪割り

本日は寒さも緩み好天に恵まれました。午前中 12 名、午後から 9 名の参加があり、午前中は主に炭材の詰め込み作業を行いました。炭材を詰め込む要点としては、

- ① 炭材と炭材の間に隙間のないように、
- ② 窯内中央部に行くに従い太い炭材を、
- ③ 炭材の太い方を上にして直立に密に立て込む

等々、いろいろ注意点もあるようですが…なかなか難しいです。

今回 3 名の方が初参加され、女性 2 名の方が炭材詰め込み作業にチャレンジされました。もちろん炭窯内に入るのも初めてですが、ベテラン H さんの指導の元、丁寧に隙間なく炭材も詰め込まれ、普段と遜色のない良い状態で仕上がったと思われます。(チャレンジ精神に拍手です!)

午後からは炭窯の入口閉鎖作業で、入口に耐熱レンガを積み上げて完全に窯内を密閉状態にして、火入れ準備完了です。一方では、別作業で薪割り作業を行いました。薪置き場約 1 列分位の薪が出来上がったように思います。

次回炭焼きの火入れ予定は 2 月 28 日(水)の予定です。皆さん大変お疲れ様でした。(坂本 幸三)



ゆきんコラム



毎月色んな作業場を周って写真を撮らせてもらってますが、『今だ!』っていうみなさんのベストショットを収めたくて、つい 1カ所 1カ所長居しちゃいます!そして他の作業場でのベストショットを逃す毎月です(泣)どの”一瞬”も素晴らしくて、撮りすぎてカメラフォルダはパンパン!人生って、そんな”一瞬”の積み重ね。それってすごい奇跡!!... だと思いませんか?(笑)



今月の 1 枚



「春だ!」

この季節になると春が待ち遠しく、なにやら気がせいて困ります。

そんな僕の気持ちを後押しするように今年はミツマタの花がすでに満開。そして、管理車道から北の山肌を眺めるとまだ 2 月だというのに淡いピンクの花が咲いています。エドヒガンです。この木は平成 23 年、全国植樹祭が和歌山県で開催された年に確か高野山のエドヒガンの種子から育てられた苗木をいただいて植えた株だと思いましたが、毎年季節を先取りするように花を咲かせてくれます。

ヤマウグイスカグラやクサイチゴの花も見つけました。そして、バリアフリーストレイル沿いのヤマザクラの新芽も膨らんで、この作業日誌が届く頃にはすでに咲いているはず。

どんどん咲き変わる春の花を追いかけっていると、春は気がせいて困ります。

うれしい春の到来です。

岡田 和久